

市川市市民活動団体支援金交付申請書

平成19年2月8日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
いちかわ地球市民会議
代表者名 理事長 高木史人
所在地 市川市鬼越1-23-3 松本方
電話 047(336)4656

市川市市民活動団体支援金の交付を受けたいので、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第5条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1. 事業の名称 環境共育教材「地球温暖化防止2007もったいない物語」
の制作と普及
2. 事業の概要 地球温暖化防止の取組みを推進するために、「もったいない」という視点で、市民（主婦・子供）等を対象とした環境共育の教材を制作・普及する。

3. 事業費総額 100,000円

4. 交付申請額 50,000円

5. 添付書類

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則、定款等の写し
- (3) 市川市市民活動団体支援金申請事業計画書（様式第3号）
- (4) 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (5) 団体の事業報告書、収支決算書の写し（直近のもの）等の市長が必要と認める書類



団体概要調書

団体名	特定非営利活動法人 いちかわ地球市民会議		
市内事務所の所在地	〒272-0022 市川市鬼越1-23-3 松本方 【 専用事務所 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 住居と兼用 ・ その他 () 】		
	電話	047 (336) 4656	FAX 047 (334) 5207
主たる事務所の所在地	市川市鬼越1-23-3 松本方		
代表者氏名	理事長 高木史人		
連絡先 <small>※この申請について 問合せをしたとき に対応できる方</small>	(連絡責任者氏名) 松本定子	電話	047 (336) 4656
		FAX	047 (334) 5207
設立年月	平成11年10月	主な活動地域	市川市内
会報等の発行	有 (回発行) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	会員数	60名
メールアドレス	Matsu1118@kih.biglobe.ne.jp		
ホームページ	http://ichikawa-tikyu.main.jp/		
団体の目的	今日、人類は「地球市民」として地球温暖化防止、森林破壊防止、生態系の保全およびゼロ・エミッションの推進に取り組まなければならない。本会は市川市民を中心に地球環境の保全をおこない、人類が地球上に多くの生物と永続的に共生可能な環境づくりをおこなうことを目的とする。		
主な事業内容	地球資源、リサイクル、環境マネジメントなど環境保全に関する専門的研究事業 2ヶ月に1度、定期的に定例会を開催し情報交換をおこなう事業 一般市民を対象とした普及啓発事業 関連する他団体との交流事業又は支援事業		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市川市版環境家計簿を市と協働で制作、活動実績が評価され環境大臣賞を受賞 ・ 行徳の常夜灯を自然エネルギーで点灯するプロジェクトを実施 ・ エコツアーの実施(平成16年度、市内在住者45名を募り茨城県波崎町へ風力発電所見学、又付近のペットボトルリサイクル施設見学) ・ 千葉商科大学で地域環境社会論を、メンバーが交代で講義を行う。 ・ 平成17年度1%事業(エコクッキング・買い物ゲーム・野鳥観察等)の実施 ・ 平成18年度1%事業地球温暖化防止親子セミナー2006 --夏休みの自由研究これでクリアー!--の実施 		
市からの他の補助金等	有(補助金等の名称:) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		

市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

<p>事業の名称</p>	<p>環境共育教材「地球温暖化防止2007もったいない物語」の制作と普及</p>	
<p>事業の目的、効果、 アピール等 ※別紙添付可</p>	<p>①「京都議定書」の約束期間（08～12年）まで1年を切り、日本はCO2削減の目標達成には程遠い状況であるが、市民と共に啓発活動を継続する事は重要である。</p> <p>②ケニヤの副環境大臣ワンガリ・マータイ氏によって再認識された日本語「もったいない」は、<u>1)神仏に対して不都合である。2)恐れ多い。ありがたい。3)むやみに費するのが惜しい、という意味である（広辞苑）。</u></p> <p>③教材は、現代の大量生産・大量消費・大量廃棄（大量リサイクル）社会の問題点を、「もったいない」という視点から、身近なエネルギー（電気・ガス）のありかたを見直し、通常の生活をしている方や自然エネルギーを活用したり省エネ生活を実践している方などを取材して、環境に配慮した生活へのきっかけづくりとする。</p> <p>④また、「もったいない」という視点で、調理用等の家庭の熱源の変遷（木材→炭→ガス→電気コウ→IHヒーター）について考察して、便利さ・エネルギー消費・CO2排出などについて考える。</p> <p>⑤取材では主婦が子供に語りかけるという想定でストーリーを構成して、教材を制作する。</p> <p>⑥作成した教材を用いて、市民（主婦・子供）等を対象とした、環境共育勉強会を開催する。</p>	
<p>主な対象者</p>	<p>市民（主婦・子供）、事業者、行政</p>	
<p>事業実施期間</p>	<p>平成19年4月～19年12月</p>	
<p>事業実施場所</p>	<p>・取材先は市川市内又は千葉県内を予定。 ・勉強会は市内の公民館（又は学校）で開催。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月） 4～5月 6～8月 9～10月 11又は 12月</p>	<p>内容 ○環境共育教材「地球温暖化防止2007もったいない物語」制作計画の検討（取材先の検討、エネルギー事業者への協力の打診等） ○現地取材 ○教材の編集と制作（PPT、ビデオ等を予定） ○教材を用いた勉強会の開催</p>

市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称：環境共育教材「地球温暖化防止2007もったいな物語」の制作と普及

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
会費収入1	25,000	関係者から本会への寄付金
会費収入2	25,000	本会の年会費(1000×25人)
補助金収入	50,000	
合 計	100,000	

2. 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
ビデオ制作費	50,000	専門会社に制作を依頼する
普及用教材の コピー代	15,000	DVD、カラーコピー
取材先への謝 礼	15,000	5000円×3件
事務消耗品	5,000	インク代他
通信費	5,000	切手代
印刷費	5,000	チラシ等
記録費	5,000	写真等
合 計	100,000	

3. その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

備考 支援金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。